

## 平成14～16年度 教育研究業績書

奈良大学在職期間	2000年 ~ 現在	氏名	寺崎保広
最終学歴	東北大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得退学		
取得学位	博士（文学） 但し2007年に取得		
所属学会	木簡学会・大阪歴史学会・東北史学会・日本史研究会ほか		
専門分野	日本古代史		
研究課題	都城・木簡・奈良時代史・官人制度・租税制度など		

### 【研究上の特記事項】

### 【教育上の特記事項】

### 【社会的活動】（主要なもの）

### 【学内活動】（学内職歴を含む・主要なもの）

奈良大学企画委員（2003・2004年度）

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 『木簡研究』24号  『全国木簡出土遺跡・報告書総覧』	共篇  共編	2002年11月  2004年2月	木簡学会  木簡学会	
(学術論文) 「会集の日」小考  荷札木簡の概要・荷札木簡の研究  帳簿	単著  単著  単著	2002年12月  2003年5月  2004年12月	「奈良史学」20号  『日本古代木簡集成』岩波書店  『文字と古代日本』第1巻、吉川弘文館	
(その他) 書評・小澤毅『日本古代宮都構造の研究』  講演「新出史料と「古代史像の見直し」について」  講演「平城京の役人の世界」  講演「木簡はどういう所から出土するか」  シンポジウム司会「私たちのまち、但馬」	単著	2003年12月1日  2004年6月  2004年8月  2004年12月  2002年7月	「条里制・古代都市研究」19号  国史談話会大会  国語教育研究会  国際シンポジウム「歴史的コンテキストの中における古代史料の中心性と周縁性」  兵庫県日高町	